

## 04 学校関係者評価のまとめ

\*学校関係者として、学校評議員様とPTA三役様にご意見をいただきました。

項目	学校関係者の主な意見	教育活動の充実に向かって
学びづくり	○子どもたちは、落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。	◇今後も学習規律の徹底に取り組み、子どもたちが意欲的に学習に取り組む授業づくりに取り組んでいきます。
心づくり	●小学校のときから善悪の判断等に力を入れて指導してほしい。いじめについて考えさせたり、いじめを見たら助けたりする教育をする。保護者も交えて授業をするとよいのではないかと思う。 ●泣いて担任に訴える子どもはよいが、泣かない子どもが心配である。そのような担任に言えない子どもをしっかりと見てほしい。 ●あいさつは、昔の子どもの方が声が大きかった気がする。小学校のときから、きちんとさせてほしい。	◇内容項目について、十分に考え、議論する「特別な教科 道徳」の授業を行っていきます。また、今後も保護者にも道徳の授業を参観いただいたり、学校便りや学級便りで伝えたりして、道徳教育を推進していきます。 ◇すべての子どもに目配りをして、子どもの思いに気付き、寄り添っていきます。 ◇あいさつの大切さについて指導し、いつでも、どこでも、大きな声で、元気にあいさつができるように取り組んでいきます。
健康づくり	●部活動がなくなると、体力の低下や時間の使い方が心配である。家庭に帰ってから、どのように時間を使うのか、保護者と一緒に考えた方がよいのではないかと思う。 ●朝ごはんは、きちんと食べているのか。朝ごはんを食べないで登校している子どももいるのではないかと思う。 ●インフルエンザの流行はどうであったか。手洗い、うがいの呼びかけを家庭にもしてほしい。	◇体力は低下しないように、体育の授業で運動する時間を十分に確保したり、外遊びを奨励したりしていきます。また、体力テストの結果を踏まえ、課題のあるものは、補強運動等で改善を図っていきます。今後も運動部活動検討委員会の方針のもと、よりよく対応していきます。 ◇朝ごはんを食べてこない子どもも数名いるので、今後も保護者と連携して、取り組んでいきます。 ◇今後も、流行期には、家庭でも手洗い、うがいをするように、推進していきます。
信頼される学校づくり	●子どもの荷物が増えて、腰痛の小学生が増えていると聞いた。また、長期休業日前には引き出しを持って帰って来るが、引き出しを入れる袋もなかなかないし、両手がふさがって危ない。 ●登下校時が心配である。危ない場所もあるので、必ず右を通るように指導してほしい。また、一人で帰るときは、十分気をつけてほしい。子ども110番の家があるが、知らない家には、入りにくい。顔見知りになる機会を設けたらいいのではないかと思う以前は、登校班であいさつに行っていた。 ●冬場は、暗いうちから家を出ている子どももいる。車から見えにくいので、くつや帽子などに反射材等をつけてはどうだろうか ●運動会ときのトイレが足りない。	◇登下校時の荷物は、重すぎないように配慮したり、学校に置いておいたりさせます。また、長期休業日前の道具の持ち帰りについては、今後も、計画的に持ち帰るように指導をします。改めて、危険のないようにして持ち帰らせませす。 ◇下校については、今後も、できるだけ一人で帰らないように近くの子ともと帰るように指導していきます。今後も、子どもたちが交通ルールを守って、安全に登下校できるように、安全指導に取り組んでいきます。子ども110番の家については、4月に登校班で場所の確認を行います。 ◇児童の交通安全について、これからもPTA役員会等で検討し、事故防止に取り組んでいきます。 ◇体育館のトイレも活用し、混雑しないようにしていきます。